

花菖蒲園

花菖蒲園は加茂荘花鳥園の呼び物です。この庭園は広さが約 1 ヘクタールで、600 種類以上の花菖蒲が植えてあります。50 万本ほどの花菖蒲の球根はすべて手で植えられており、毎年植え替えられます。花菖蒲が見頃の 4 月下旬から 6 月末にかけて、花菖蒲園は 1 年で最も来園者が多くなります。

加茂家の言い伝えによると、最初の花菖蒲は江戸時代（1603～1867 年）初期に加茂家に嫁いだ高貴な生まれの女性が、はるか遠い東北の岩出山城からもってきました。花菖蒲は神聖な花で邪気を払うと考えられていたので、岩出山城から運ばれた花菖蒲は、結婚に災いが及ばないよう屋敷の正面の門の前に植えられたのかもしれません。

第二次世界大戦中は食糧生産に土地を使えるようにするため、花菖蒲園はかなり縮小され、戦後、現在の状態になりました。加茂家の人々が絶えず手入れをしてきたおかげで、庭園は今日にいたるまで絵のような美しさを保っています。